



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2008年5月20日
MR/J16/08

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-5467-1212
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国際連合大学ゼロエミッションフォーラム 地球温暖化と低炭素社会をテーマに 第9回総会記念講演会を開催

内容： 国際連合大学ゼロエミッションフォーラム（国連大学 ZEF）
第9回総会記念講演会
テーマ： 地球温暖化と低炭素社会
日時： 2008年5月28日（水）午後2時～午後6時
場所： 国連大学本部ビル（渋谷区）3階ウ・タント国際会議場
主催： 国際連合大学ゼロエミッションフォーラム（UNU ZEF）

- 科学者の多くが予測してきたように、世界各地では異常気象が頻発している。強大なハリケーンや台風、集中豪雨による洪水、地滑り、土壌浸食、砂漠化の進行、水資源問題、旱魃による農作物被害、熱波、熱帯性の疾病地域拡大等々世界的に深刻な被害を与えているのは、それらの一例に過ぎない。
- 本講演会では、2008年を地球温暖化防止と低炭素社会実現のために積極的な行動を起こす年として位置付け、より厳しさを増す温暖化とその影響の正しい認識と、地球温暖化防止のための日本の役割について考える。
- 基調講演は、スバンテ・ブダイーン、スウェーデン環境省 地球温暖化局局长による「温室効果ガス削減と経済成長を両立させるスウェーデンの温暖化政策」と題した講演、および田村義雄、環境省 事務次官による「地球環境問題の現状と課題」を予定。
- 休憩の後は、「ポーター仮説」（よい環境規制は企業を強くする）と題し、パネルディスカッションを開催。コーディネーターおよびパネリストは以下のとおり。
コーディネーター 三橋 規宏、ZEF 自治体ネットワーク代表・理事
パネリスト スバンテ・ブダイーン、スウェーデン 環境省 地球温暖化局局长
谷達雄、(株)リコー 理事 技師長 環境本部 本部長
谷口正次、ZEF 産業界ネットワーク代表・理事
- 日英同時通訳つき。

当シンポジウムの取材に関する連絡先：
国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-5467-1311、e-mail: media@unu.edu）

国連大学ゼロエミッションフォーラム（UNU ZEF）について

ゼロエミッションフォーラムは国連大学を母体とした、より持続可能な産業社会システムを実現するための組織で、その核となるコンセプトは、排出ゼロを実現するための産業・セクター間における廃棄物相互利用を根底におく、統合型産業システム構想です。国連が、世界的な規模で進行する環境問題や資源の枯渇、南北間の経済格差などを総合的に検討しこれらの課題にどのように対処するかの方針を打ち出すため、1992年、ブラジルで地球サミットを開催し「アジェンダ 21. 持続可能な開発のための人類の行動宣言」を採択。これらの課題にどう対処するか、国連大学ではこの「アジェンダ 21」をうけて1994年に「ゼロエミッション」という新しいコンセプトを提唱したのです。

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。

MEDIA ADVISORY